シラバス参照

開講年度	2009
科目名	特殊講義
職名/担当教員	経済学部 教授 望月 宏
期間/曜日/時限	後期 火曜日 3時限
開講区分/校舎	一部生田/生田
配当	E 3 4
単 位	2

講義内容	マーマ:川崎市役所特別講座(寄付講座) 新時代の都市振興 都市は、経済・社会活動の受け皿であると同時にその活動そのものの集積でもある。従って、都市の活力を高めていくためには、様々な側面からの変化の対応、経済主体への対応が必要となってくる。川崎市は特に首都圏の中枢にあって、その都市の変容、都市振興を先端的に切り開いている都市である。本講では、経済・社会等々様々な側面の様々なニーズに都市政策サイドがどのように対応し、将来を見据えた活動をしているかを、川崎市というケースを元に川崎市役所職員を中心としたオムニバス方式で講義していく。 <講義計画> (1) 初回 ガイダンス (望月) (2) 21世紀をリードする川崎市の将来像(総合企画局) (3) 統計データから見た川崎市(総合企画局) (4) 川崎市財政の現状と課題(財政局) (5) 川崎市の産業措造の変遷とその行方(経済局) (6) 川崎市の産業構造の変遷とその行方(経済局) (7) 川崎市の産業構造の変遷とその行方(経済局) (8) 川崎市のの事状を支える文化・サービス産業(経済局) (9) 川崎市の環境政策の課題と対策(環境局) (10) 川崎市の身様な街づくりの狙いと効果(まちづくり局) (11) 川崎市を張り巡らす交通ネットワークの課題と整備方向(まちづくり局) (12) アジアに向けた川崎市の取組とその意義(総合企画局) (13) 最終回 まとめ(望月) <教科書> 使用しない。各回の講師が必要に応じて資料配布(パワーポイント)する。 《参考書> 「川崎市総合計画」、「川崎の産業」、「市勢要覧」などの他、各回の講師が必要に応じて紹介する。
成績評価方 法・基準	後期末における提出レポートの評価及び出席状況により評価する。
履修上の留意点	<受講前提条件・関連科目> ・受講にあたっては、川崎市ホームページ <u>http://www.city.kawasaki.jp/</u> はもちろん、川崎市発行の諸資料、専修大学社会知性開発 研究センター発行の川崎都市白書等を参考にし、また日本経済新聞、神奈川新聞などの川崎関連の諸記事などに注意を払うように。 ・関連科目は、「都市経済論」、「地域経済論」、「地方財政論」、「中堅企業論」、「企業経済論」、「情報経済論」など。
担当教員へのアクセス	
その他	・ 各回講師は川崎市の第一線の方々ばかりでもあり、しかるべくマナー(遅刻禁止、出入り禁止、私語禁止)を励行すること。評価に 影響する。

更新日付

2009/02/28 11:51